

UN Women東京 News Letter

Vol.5

UN Women (国連女性機関) 日本国内委員会東京委員会

2012.7.24

新企画 TALK&CINEMA 「映画で学ぶ開発途上国の女性たち」 3回シリーズ:講師は松本侑壬子氏(映画評論家・ジャーナリスト)

★その1:イラン映画 「オフサイド・ガールズ」

＜どうして女性はサッカー場に入れないの?＞

2006年～ジャファル・パナヒ監督

4月19日(木)津田塾大学同窓会会議室

「どうして女性はサッカー場へ入れないの?」この素朴な疑問の背景にあるイランの政治・社会状況が、松本氏の解説からクリアに見えてきた。

映画界にも厳しい統制のあるイランでの撮影は、ゲリラ戦法で行われ、カメラは普通の市民を追いかたちで展開する・・・どうしてもサッカーを観たい女の子が、ダフ屋から大枚はたいてチケットを買い競技場にもぐり込んだ。しかし、たちまち捕まり囲いの中に監禁される。すでに数名の女の子が捕まっている。観衆の歓声が響いてくる。イラン対バーレン戦だ。いても立ってもいられない女の子たちは見張りの兵隊をたきつけ、



壁越しに見えるところから実況放送させる。下手な実況はさらにもどかしい。

トイレに行きたい女の子が出てくる。根負けした兵隊は仕方なく目隠しさせて男用のトイレに連れて行く。壁の落書き、なぜかドアの下に見える4本の足?入り口で足止めをくらい悶える男たち・・・抱腹絶倒の場面だ。結局、バスで街に連れ返される女の子たちだが、イラン勝利に沸く街の雑踏の中に紛れ出る女の子のうしろ姿に、パナヒ監督の自由への希望が託されている。

★その2:ドイツ映画 「ラクダの涙」

＜モンゴル・ゴビ砂漠の遊牧民一家のくらし＞

2003～ビャンバスレン・ダバー

& ルイジ・ファロルニ共同監督

6月14日(木)津田塾大学同窓会会議室



ラクダが涙を流すって、本当だろうか。どうして、どんな時に、ラクダは泣くのかしら。タイトルからしてもう興味津々。モンゴルのゴビ砂漠に暮らす4世代

(老夫婦2組と若夫婦とその子ども3人)の遊牧民家族の暮らしを追う、ドキュメンタリー映画である。

いつも群れから離れ、ラクダの集団になじめない牝ラクダが難産の末に白い赤ん坊ラクダを産むが、子ラクダを育てようとしない。乳房ににじり寄り子ラクダ

を冷たく追い払い、ひとり群れの外に平然と立ったまま。60頭のラクダに名前を付け、家族同様に飼育している一家にとって、子ラクダが育たないようでは

一大事。県庁のある町へ幼い兄弟を使いにし、音楽の先生を呼び寄せる。先生が馬頭琴を鳴らして音楽を奏すると、不思議にも母ラクダは一転、静かに落ち着きを見せ、涙を流しながら乳を与える。一家も周囲も音楽の先生たちもホッと胸をなでおろす。馬頭琴の音を聴かせるとラクダの苛立ちやストレスが収束するという遊牧民の知恵が活かされているのだ。家族全員とラクダに対して細やかで優しく、愛情込めて接する若い世代の母親の賢さと温かさが、じんわりと心にしみる。



えう
ご期待!

★その3:フランス・セネガル映画 「母たちの村(Moolaade)」

＜西アフリカの小さな村の出来事。理不尽なFGMと戦う少女の明るさ、強さ、色彩豊かな衣装と歌声＞

2006年6月公開 ウスマン・センベヌ監督・製作・脚本

10月18日(木) 13:30～津田塾大学同窓会会議室 資料代=500円

★原題の「Moolaade」とは、助けを求めてきた人を守り、保護するというアフリカの古い風習のこと。女性性器切除を逃れたいと村の女性のもとに助けを求めてきた4人の少女を通して、教育や知識を身につけ、エンパワーする大切さが描かれている。「FGM撲滅」は今年のCSWでの決議・採択事項の一つにもなっている。

♪第19回チャリティコンサート♪ タンゴ=情熱のしらべ Miyuki Tango Torio

7月1日(日)あいにくの雨の中、満席の聴衆が初夏の一タ、タンゴのリズムに酔いしれた。古典の「ラ・クンパルシータ」からピアソラの名曲「ブエノスアイレスの冬」、メンバーのオリジナル曲まで16曲。情熱的で、むせび泣くようなタンゴの調べが響き渡り、熱い感動を呼んだ。

ピアニストの佐藤美由紀さんの解説はとてもわかりやすく、普段はただ聴いているだけのタンゴが、かなり身近に感じられて楽しい知識が増えおもしろかった。

アルゼンチン・タンゴは場末の飲み屋でギターを抱え、その夜の心情を歌で表す語りから始まったものだという。バンドネオンを弾くボタンや音の出し方なども実際にみせてもらい、あの激情的な音がどのようにできているのか、不思議だったものが実によくわかった。ギターとバンドネオンのデュオ、ピアノとギターのデュオはトリオと異なるうら哀しいメロディで、このメンバーならではの素晴らしい演奏



だった。なかでも、聴きなれた名曲「エル・チョクロ」の熱情的な、滝が落下するような激しいリズムが最も心に残った。そう感じた聴衆も多かったのだろうか。CDを買う際に「この曲の入っているものを・・・」と指定して購入した人が数人いらっしやった。

会場の「ムジカーザ」は小さいながら音響もよく、落ち着いた雰囲気のあるホールで、また音楽をじっくり聴きたいと感じさせられた。



毎年 楽しいバザーでグッズ販売と募金！！ =オールソフィアンの集い=

5月27日(日) 上智大学構内



今年もオールソフィアンフェスティバルがやってきました。初夏のような爽やかな天候にめぐまれて、多くの紳士・淑女の楽しい集いとなりました。

私たちUN Women東京のメンバー4名も淑女のつもりで素敵なフェスティバルに参加しました。開発途上国女性の手作りグッズなどを中心に、小さなお店の開店です。写真にもあるようなインドのブラウスやバングラデシュの袋物がみなさまの目にとまり、開発途上国の女性の生活をそれぞれに思いながら、話が弾みました。

売り上げは上々で、みなさまの関心の深さにあらためて感動しました。

特設野外ステージからは、元気な子どもたち、現役の学生そしてOld boys、Old girlsの方々披露されるダンスや音楽が絶え間なく聞こえてきます。私たちのお隣のブースでは、グラスワインに淑女手作りのピクルスを添えて販売。フェスティバルを一層盛り上げているようでした。こうして参加者と一緒に私たちの楽しいフアンドレイジングの一日は終了しました。

来年は、上智大学創立100周年です。今年以上に張り切って参加させていただきます！！

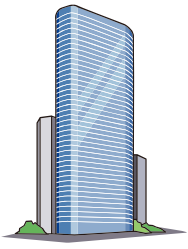
★★★ 会員通信 ★★★

「天体ショーの当たり年に思う」 立木冬麗

5月21日の金環日食、6月4日の部分日食、6月6日の金星の太陽面通過、8月14日の金星食と、2012年は天体ショーの当たり年です。地震、雷雨、竜巻などの異常気象も日常的となり、自然の猛威を目の当たりにすることが多くなった今日、古代の人々が大自然を脅威に感じ、常に天体に注目したように、私たちも天体の動きに関心がいくようになりました。日食は権力者の衰退、月食は家屋の崩壊、川の氾濫などを示す天体現象と生活は結びついています。それ故天文観測は盛んに行われ、天文学は発展しました。星が隠れる食は見た目も美しく珍しい現象でも占星術の意味は悲観的なもの。政治の混乱、庶民生活の打撃など今年も注意が必要です。今後も珍しい天体現象前後は災害に気をつけたいところ。

太陽の黒点は9年から11年周期で増減を繰り返して生活に大きな影響を与えます。西暦末尾が小さな数の年は黒点数少なく、末尾が8、9は黒点数最大になる傾向にありましたが、今年5月巨大黒点が観測されました。黒点活動期は交通事故や戦争勃発の傾向があるといわれ、世界平和への影響が懸念されます。

さて7月4日“神の素粒子”と言われるヒッグス粒子発見という世紀の大ニュースが発表されました。ヒッグス粒子の研究が進めば、まだ解明されていない96パーセントの宇宙の謎が解き明かされるかもしれないのです。人類は宝箱を開ける鍵を見つけたのかもしれませんが。古代からの占星術の思想は、人間が宇宙のことを考えるきっかけを与えました。そして今度は宇宙の素粒子が占星術の謎を解き明かしてくれるかもしれません。そんな未来はすぐそこまでやって来ているような気がします。



第56回 CSW 情報

第56回CSW(国連婦人の地位委員会)は2月27日から3月9日までニューヨークで開催されました。

CSWは国連の経済社会理事会の機能委員会の一つとして、さまざまな問題が論議され採択・決議します。

今年のメインテーマ『農山漁村の女性のエンパワメントおよび貧困・飢餓撲滅・開発・今日的課題における役割』の議論の中でジェンダー主流化の支援に向け、UN Womenの活動に積極的に貢献していくことが確認されました。

日本が提案し、50カ国が共同提案国となった『自然災害におけるジェンダー平等と女性のエンパワメント』は採択されました。

3月1日には日本のNGO団体の国際婦人年連絡会、国連NGO国内婦人委員会、日本女性

監視機構が主催し、国連日本政府代表部の後援のサイドイベント『災害・復興とジェンダー平等～東日本大震災と津波』が開催されました。他にもパラレルイベント『3.11から1年、東日本大震災と原子力発電所事故の影響をうけた地方女性たちの現状』が協議され、“女性や子育て家庭に視点を当てたニーズとジェンダーに配慮した復興プロジェクトの策定と実施”が採択されました。

また次の6項目については一部、意見の相違から会期中の合意に至らなかった項もありました。①「女性性器切除(FGM)の撲滅」②「パレスチナ女性の状況およびその支援」③「紛争下で捕虜とされた女性・児童および拘置された者の釈放」④「女性のエンパワメントを通じた妊産婦死亡・疾病の撲滅」⑤「先住民女性・貧困および飢餓撲滅のための重要なアクター」⑥「女性・女兒とHIVおよびAIDS」

2011年度拠出金による UN Women日本国内委員会の支援プロジェクト

1. バンコクでの“Global UNiTE Youth Forum”のうちの若者によるワークショップの開催費用を支援。
「女性と少女に対する暴力への対応と予防キャンペーン」



UNITE Youth Forum ワークショップ

2. 女性に対する暴力撤廃信託基金。
UN Womenは、女性に対する暴力を終わらせるために、世界各地で様々な取り組みをしている事業を支援しています。



3. カンボジアの竹製品の品質向上プロジェクト。
カンボジアのメコン河流域の良質な竹資源を利用して農村の女性たちに現金収入をもたらすための経済的エンパワメント支援。



4. アチェにおける女性と平和・安全保障のプロジェクト。
2008年のスマトラ沖地震の大津波の傷跡が癒えない地域女性への支援。



RIO+10 バチレ事務局長のメッセージ (抜粋)

20年前に開かれた第一回国連環境・開発会議では、ジェンダー平等と女性のエンパワメントは持続可能な開発に不可欠なものであることが確認されました。1995年の第四回世界女性会議で出された「北京行動綱領」ではこの主張が支持されました。

世界の人口の半分を占める女性が持続可能な開発を現実のものとするためにあらゆる側面で平等な機会と強力な発言権を持つことが必要なのです。

UN Womenは、リオ+20において次の3点の目標達成を目指しています。

①会議で出される国際的持続可能な開発における社会的、経済的、環境的領域の全般にわたって女性の中心的役割を十分に反映するものであること。

②草の根の女性の声が政府間会議において、強く反映され、その結果として女性が政治的合意を形成し、その前進を図れるようにすること。

③持続可能な開発を履行するための対策すべてに、持続性の新たな目標と測定を含めたジェンダー平等と女性のエンパワメントが十分に盛り込まれるべきこと。

課題はジェンダー平等と女性のエンパワメントが、最終合意のあらゆる側面で確実に盛り込まれるようにすることです。





魅惑の無伴奏ヴァイオリンコンサート
天満敦子の世界へ
 ようこそ～～

2012. 12. 15 (土) 津田ホール

*JR:千駄ヶ谷駅

*地下鉄大江戸線:国立競技場駅 A-4出口

開演 18:00 (開場 17:30)

全席自由席:4,000円

*お申込み受付開始:9月18日(月)より

*お申込み受付先:〒135-0033東京都江東区深川2-6-1上原ビル

TEL&FAX 03-5809-8587

HP:unwomentokyo@unwomentokyo.org

*入場料金のお振り込みが確認されましたらチケットをお送りします。

*お振り込み口座:みずほ銀行 あざみ野支店(普) 599-1283538

UN Women東京

主催:UN Women東京
 協力:オフィス天満

うれしいお知らせと御礼!!

昨年の東日本大震災被災女性・少女支援のための特別募金に、皆様のご協力を得てUN Women東京も日本国内委員会を通して「みやぎジョネット」の活動に協力・支援しましたが、このたび内閣府男女共同参画社会づくり功労者表彰で「女性のチャレンジ賞特別部門賞(防災・復興)」を受賞されました。『みやぎジョネットのチャレンジは自らの意欲と能力によって未来を切り開いていく「防災・復興」のロールモデルとして傑出したもの』として受賞されたものです!特別募金にご協力くださった皆様に紙面を通じて厚く御礼申し上げます。

会員の皆様へのお願い

日頃よりUNWomen東京の活動にご協力いただき心から感謝申し上げます。
 お蔭様で事業も順調に進み、役員一同、後半の取り組みに力を注いでいるところです。
 つきましては、今年度の年会費が未納の方は、お忘れなくお振り込みをお願い申し上げます。

*個人:3,000円

*団体:5,000円

◆郵便振替:00190-6-550880

UN Women東京



★ご入会・ご寄付をいただきありがとうございます。

***新規会員:**

下村辰枝 加藤 昭 城倉純子 鮎井啓子 碓谷真理
 内田洋子 目黒房子 津田厚子 藤岡芳子 岡 雅子
 大坪百合子 小川喜代子 佐伯加代子 大森富士子
 川島巳代子 福岡寿美子 大館純子 松崎園子
 備前あや 小林英理 高山文子 森 道子

***寄付者:**

泉三和子 山田美也子 高田弘子 武内あや子

***活動寄付者:**

太田恵子 加藤聖子 渋谷弘子 高田武子
 鷺見八重子 菊池寿美子 五十嵐康子 天野尚子
 尾高富佐子 矢鋪眞澄 間遠雪子 長浜節子
 山野俊治 松村恵美子 鈴木賀子 山田美也子

(敬称略)

(2012年4月21日～5月20日まで)

会員募集中!!

- 開発途上国には
あなたの支援を
待っている人がいます。
- 会員になって
一緒に活動しませんか?
- ご寄付も随時
受け付けています。

編集後記

いろいろな情報満載の第5号をお届けします。トークとシネマの会、上智大学でのバザー、タンゴ・コンサート、国連からの報告など、最新の活発な動きのすべてをご覧ください。来年度に向けての新しい試みや企画にも取り組み始める時期になりました。

今後どんな活動をしていきたいか、積極的なご意見やご要望をお待ちしています。(M)

UN Women 日本国内委員会東京委員会

UN Women東京 **News Letter** Vol.5

発行人: 東京委員会会長 鷺見 八重子

発行日: 2012年 7月24日

〒135-0033 東京都江東区深川2-6-10

上原ビル 1F

Tel/Fax 03-5809-8587

http://unwomentokyo.org

E-mail:unwomentokyo@unwomentokyo.org